

自然再生活動便り

令和元年5月



写真 ハナバチが来ないサクラソウの授粉作業

みちのく自然共生園の自然再生ボランティア活動では、東北地方らしい自然豊かな里地の自然を再生する活動を展開しています。この場所にわずかに自生していたサクラソウの保全を軸に、その生育地である半自然草原の再生に取り組んでいます。特に、サクラソウの花粉を運ぶトラマルハナバチがほとんどいないため、ハナバチを呼び戻す、四季折々の野草が咲く花野の再生に力を注いでいます。

●モニタリング・野辺に咲く花野まつりガイドツアー（5月5日）

- ・モニタリングでは、展望野草園やサクラソウ園の雑種タンポポ、ハルジオンの除草を行うことにしました。
- ・野辺に咲く花野まつりのガイドツアーを行いました。13名の参加がありました。



写真 ガイドツアー



写真 モニタリング

●サクラソウの人工授粉・サクラソウポット苗植付け（5月12日、13日）

- エコキャンプとサクラソウ園でサクラソウの人工授粉を行いました。今年はハナバチ類が去年より少ないようです。フジに飛来するクマバチですら、僅かです。
- 昨年播種したサクラソウの苗をサクラソウ園の畔に植え付けました。



写真 人工授粉作業



写真 サクラソウ苗の植付け

●外来種等の除草（5月5日、13日、19日、20日）●花野保全イベント（5月26日）

- 展望野草園のハルジオンや雑種タンポポを花が目立つ時期に優先して除草しました。
- 花野保全イベントでは除草した場所にオキナグサのタネを播きました。



写真 雑種タンポポ等の除草



写真 花野保全イベント

●花野塾（5月11日）、●自然塾（5月12日）●生き物調査（5月19日）

- 花野塾は里山地区と自然共生園を1日かけて巡りました。
- 自然塾は「おきなくさ」の朗読のあと、秋に行列を行う花野を歩きました。
- 生き物調査では、チョウ類やカワトンボ、アワフキムシ等を観察しました。



写真 里山地区から北地区を望む



写真 「おきなくさ」の読み聞かせ